

施策評価調書

施策名	6-2-1	男女共同参画への意識醸成			施策を取り巻く環境変化	国においては平成22年7月23日に、男女共同参画会議議長から内閣総理大臣へ「第3次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方」が答申されました。
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ		P. 75		
担当部課	教育部 生涯学習課	担当	社会教育 担当			
		リーダー	山野井 紀奈			

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	9.5% 第11位/全36項目(男女共同参画の推進)	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	19.6% 第35位/全36項目(男女共同参画の推進)	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの

優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
(広報活動による意識啓発)							
指標1:「男女共同参画社会」という用語の認知度:(%)	22年度実績	計画	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%
	—	実績					
指標2:未就学児をもつ男性が週1回家事をする割合:(%)		計画	50.0%	60.0%	70.0%	80.0%	90.0%
	—	実績					
指標3:		計画					
		実績					
指標4:		計画					
		実績					
指標5:		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	○指標の数値は、こどもみらい課と連携し、町内の保育園等の保護者を対象に、毎年1回、アンケートを実施して測定します。						

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当初	200			
	決算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

自己評価(部)	後期計画における施策展開のビジョン	H23年度の狙い
	男女共同参画推進については、課題点・問題点を掘り下げていけば「人権」を考えることに行き着くものと考えます。 非常に広範で奥深く、互いの優位性を尊重する意識醸成の必要性は理解できるものの、目に見える成果が期待できる取り組みがないのが現状であり、町単独での施策展開のほか、県や関係機関主催のセミナーの情報提供や同セミナーへの参加を促すなど試行錯誤の中で啓発を進めていきます。	子育てをしている保護者をターゲットとして、啓発活動を行います。 男女共同参画について、身近に感じ、ともに考え、取り組んでいくための機運づくりに向け、町内の保育園等の保護者を対象に、男女共同参画についての意識調査のアンケートを実施します。(アンケート調査は、こどもみらい課と連携し、保護者の意識の変化を把握するため、継続して実施します)
総合評価(町長)	総合評価	
	前期計画から掴みどころがない施策展開にあって、こどもみらい課で行う子育て施策との連携により、町が取り組めること、県や関係機関と連携して行っていくことなど、役割分担を確認しながら、少しずつでも成果があがることを期待する。	